

私が書を 表装する時



〔講師〕

表装作家 ま い お もと こ 麻殖生 素子

屏風や掛軸を制作し個展を開催するかたわら、書家や日本画家、グラフィックデザイナーなどとのコラボレーションも多く手がけてきた麻殖生さん。著書に『表装を楽しむ 掛軸、屏風をつくる』などがあり、現代アートとしての屏風の可能性を追求し続けています。これまでに制作した書家の作品を紹介しながら、表装に用いた材料や書作品を生かす工夫などについて語ります。

〔日時〕 2023年 **11月5日**(日) 10:30~12:00

〔会場〕 徳島県立文学書道館・1階ギャラリー

聴講無料・定員100人 (応募者多数の場合は抽選)

【講師プロフィール】 1948年東京生まれ。80年代より掛軸、屏風作りをはじめ、個展開催のほか、書家などとのコラボレーションも手がける。屏風の特性を生かしつつ和紙や古裂(こぎれ)などの素材を巧みに用いた作品づくりのほか、従来の屏風にはみられない多曲変形屏風を考案。アメリカのメトロポリタン美術館やフィラデルフィア美術館、ザ・リッツカールトン福岡などに屏風作品が収められている。

申込必要

10月21日締切

【申込方法】 はがき・FAX・メールのいずれかに「麻殖生素子 書道講演会希望」と明記し、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号をご記入の上、文学書道館あてお送りください。当館1階受付でも申し込めます。受講が決まりましたら受講票(はがき)をお送りします。

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1 メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp
TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540 ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

麻殖生さんが表装した石飛博光さんの作品の一部分

